

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公表番号】特表2002-540127(P2002-540127A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-607588(P2000-607588)

【国際特許分類】

A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	35/76	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/566	(2006.01)
A 6 1 K	38/55	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	35/76	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	P
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/566	
A 6 1 K	37/64	
C 1 2 N	15/00	Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 患者においてL I P Gの発現を低下させ得る組成物であって、リボザイムを含む、組成物。

【請求項2】 患者においてL I P Gの発現を低下させ得る組成物であって、リボザイムをコードするD N A配列を含む発現ベクターを含む、上記組成物。

【請求項3】 患者において高密度リポタンパク質(H D L)コレステロールおよびアポ

リボタンパク質 A I のレベルを上昇させるため医薬の製造のための、L I P G の酵素的活性を低下させる組成物の使用であって、前記組成物が L I P G をコードする m R N A を切断するリボザイムを含む、上記使用。

【請求項 4】 患者において高密度リボタンパク質 (H D L) コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I のレベルを上昇させるため医薬の製造のための、リボザイムをコードする D N A 配列を含む発現ベクターを含んでなる組成物の使用。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の使用であって、前記発現ベクターが、レトロウイルスベクター、アデノウイルスベクター、アデノ随伴ウイルスベクター、ヘルペスウイルスベクター、および裸の D N A ベクターからなる群より選択される、使用。

【請求項 6】 患者において高密度リボタンパク質 (H D L) コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I のレベルを上昇させるため医薬の製造のための、L I P G の酵素的活性を低下させる組成物および患者においてアポリボタンパク質 A I を発現し得る組成物の使用。

【請求項 7】 患者において L D L コレステロールのレベルを低下させるため医薬の製造のためのエンハンサーの使用であって、該エンハンサーは、L I P G ポリペプチドと H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I との間の酵素的反応に対して、L I P G ポリペプチドと L D L コレステロールとの間の酵素的反応を優先的に増強する、使用。

【請求項 8】 患者において V L D L コレステロールのレベルを低下させるため医薬の製造のためのエンハンサーの使用であって、該エンハンサーは、L I P G ポリペプチドと H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I との間の酵素的反応に対して、L I P G ポリペプチドと V L D L コレステロールとの間の酵素的反応を優先的に増強する、使用。

【請求項 9】 低 H D L コレステロールレベルおよび低アポリボタンパク質 A I レベルへの傾向を予測するための方法であって、患者から得た組織サンプル中の L I P G ポリペプチドのレベルを測定する工程を包含する、方法。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の方法であって、前記組織が血液である、方法。

【請求項 11】 請求項 10 に記載の方法であって、前記サンプル中の L I P G ポリペプチドのレベルをイムノアッセイにより測定する、方法。

【請求項 12】 請求項 9 に記載の方法であって、L I P G m R N A のレベルを測定することによって前記 L I P G ポリペプチドのレベルを測定する、方法。

【請求項 13】 試験化合物が L I P G ポリペプチドと H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I との間の酵素的反応を阻害し得るか否かを決定するための方法であって、以下：(A) 第 1 のサンプル中の H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I のレベルを、別のサンプル中の H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I のレベルと比較する工程であって、該第 1 のサンプルが(1) H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I 、(2) L I P G ポリペプチド、および(3) 試験化合物を含み、そして該別のサンプルが(4) H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I および(5) L I P G ポリペプチドを含む、工程；ならびに(B) 該第 1 のサンプルが該別のサンプルよりも高い H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I のレベルを有するか否かを観察することによって、該試験化合物が該 L I P G ポリペプチドと H D L コレステロールおよびアポリボタンパク質 A I との間の酵素的反応を阻害する際に有効であるか否かを同定する工程、を包含する、方法。

【請求項 14】 試験化合物が L I P G ポリペプチドと V L D L コレステロールとの間の酵素的反応を増強し得るか否かを決定するための方法であって、以下：(A) 第 1 のサンプル中の V L D L コレステロールのレベルを、別のサンプル中の V L D L コレステロールのレベルと比較する工程であって、該第 1 のサンプルが(1) V L D L コレステロール、(2) L I P G ポリペプチド、および(3) 試験化合物を含み、そして該別のサンプルが(4) V L D L コレステロールおよび(5) L I P G ポリペプチドを含む、工程；ならびに(B) 該第 1 のサンプルが該別のサンプルよりも低い V L D L コレステロールのレベルを有するか否かを観察することによって、該試験化合物が該 L I P G ポリペプチドと V

LDLコレステロールとの間の酵素的反応を増強する際に有効であるか否かを同定する工程、を包含する、方法。

【請求項15】 試験化合物がLIPGポリペプチドとLDLコレステロールとの間の酵素的反応を増強し得るか否かを決定するための方法であって、以下：(A)第1のサンプル中のLDLコレステロールのレベルを、別のサンプル中のLDLコレステロールのレベルと比較する工程であって、該第1のサンプルが(1)LDLコレステロール、(2)LIPGポリペプチド、および(3)該試験化合物を含み、そして該別のサンプルが(4)LDLコレステロールおよび(5)LIPGポリペプチドを含む、工程；ならびに(B)該第1のサンプルが該別のサンプルよりも低いLDLコレステロールのレベルを有するか否かを観察することによって、該試験化合物が該LIPGポリペプチドとLDLコレステロールとの間の酵素的反応を増強する際に有効であるか否かを同定する工程、を包含する、方法。